

職業能力開発研究

第 23 卷

2005年

〈論 文〉

- 高度職業訓練における訓練効果 松崎 学
菊池 真
- 情報技術関連の実習支援教材のWeb/XML化 福良 博史
- 知的財産法と独占禁止法の交錯 櫻井 博行
- PPM手法を適用した訓練評価手法構築の試み 第2報 新井 吾朗
－平成13年度から平成16年度までの指導員研修改善の経過－ 砂田 栄光
- 吉田松陰と横井小楠の実業教育について 大川 時夫
堤 一郎
-

職業能力開発総合大学校 能力開発研究センター

「職業能力開発研究」誌投稿規定

【投稿規定】

原則として職業能力開発総合大学校の教職員に限る。共同執筆者は学外者であってもよい。

【投稿の種類】

職業能力開発に関する論文、研究ノート、資料、紹介または解説とする。原則として、他紙に掲載されたものを重複して投稿できない。

【原稿の長さ】

論文、研究ノート、資料、紹介又は解説のいずれにおいても400字詰原稿用紙約50枚(図表含む)を標準とする。英文抄録をつける。

【投稿、採択、校正】

投稿原稿は「職業能力開発研究」編集専門部会事務局宛に提出する。原稿の受けは年1回とし、締切日は別に定める。原稿の採否は編集専門部会で決定し、投稿者に通知する。査読の結果、修正を要する場合は速やかに修正のうえ、再提出して審査を受けなければならない。校正は著者が3回まで行い、それ以降は編集専門部会に一任する。掲載された原稿は返却しない。

【執筆規定】

1. 本文：A4縦置き、1行文字数40文字、1ページ35行、枚数は、14枚が標準とすること。
 2. 英文抄録：200語以内とする。
 3. 図表(写真を含む)：1つの図表ごとに別紙を用いる。図表は白紙(又は淡い方眼紙)にトレース又は、プリンタ、プロッタ等で作成し、できあがり時の寸法を記すこと。
 4. 文献：本文の最後に列記する。書き方は下記による。
 - ①雑誌＝著者名、表題、雑誌名、巻(号)、発行年(西暦)、引用ページ
 - ②書籍＝著書あるいは編者名、書名、発行所、発行年(西暦)、引用ページ
 5. 用字・用語：現代かなづかいとする。アラビア数字を使うこと。
-

職業能力開発研究

第 23 卷

目 次

〈論 文〉

高度職業訓練における訓練効果	松 崎 学	1
	菊 池 真	
情報技術関連の実習支援教材のWeb/XML化.....	福 良 博 史	11
知的財産法と独占禁止法の交錯	櫻 井 博 行	23
PPM手法を適用した訓練評価手法構築の試み 第2報.....	新 井 吾 朗	37
—平成13年度から平成16年度までの指導員研修改善の経過—	砂 田 栄 光	
吉田松陰と横井小楠の実業教育について	大 川 時 夫	51
	堤 一 郎	